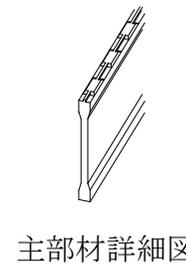
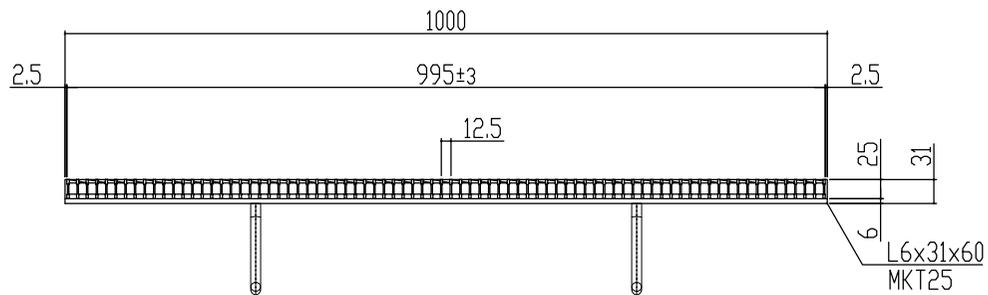
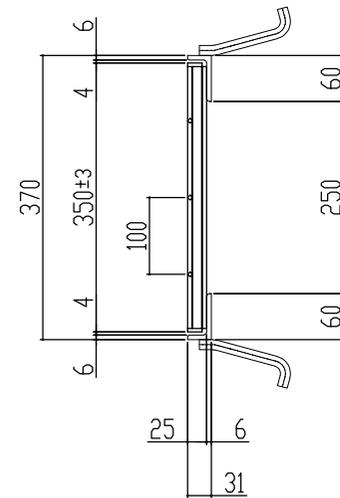


車両進行方向(側溝)



本体重量 14.9kg
 受枠重量 8.2kg
 合計重量 23.1kg

表面処理 本体は溶融亜鉛メッキ仕上げ (JIS H8641)
 受枠は錆止め黒塗装仕上げ

主部材詳細図

<table border="1"> <tr> <td>訂正年月日</td> <td>訂正番</td> <td>訂正年月日</td> <td>訂正事項</td> <td>訂正者</td> <td>承認印</td> <td>検印</td> <td>製図</td> <td rowspan="4"> 図面名称 一般側溝用(ハイテン) グレーチング 溝幅250用 細目 ノンスリップ T-20 LNHM253-2.5 </td> <td rowspan="4"> 株式会社 マキテック MK駐輪事業部 </td> </tr> <tr> <td>標準製作図面</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>試作図面</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>特注図面</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	訂正年月日	訂正番	訂正年月日	訂正事項	訂正者	承認印	検印	製図	図面名称 一般側溝用(ハイテン) グレーチング 溝幅250用 細目 ノンスリップ T-20 LNHM253-2.5	株式会社 マキテック MK駐輪事業部	標準製作図面							試作図面							特注図面							承認印	検印	製図	図面名称 一般側溝用(ハイテン) グレーチング 溝幅250用 細目 ノンスリップ T-20 LNHM253-2.5	株式会社 マキテック MK駐輪事業部
	訂正年月日	訂正番	訂正年月日	訂正事項	訂正者	承認印	検印	製図			図面名称 一般側溝用(ハイテン) グレーチング 溝幅250用 細目 ノンスリップ T-20 LNHM253-2.5	株式会社 マキテック MK駐輪事業部																								
	標準製作図面																																			
	試作図面																																			
特注図面																																				
材質	数量	縮尺	図番 MKG-L-063																																	
主部材SS540																																				

グレーチング強度計算書



1 仕 様	品名	LNHM253-2.5
	製品寸法	350x995x25
	主部材	I-3 × 1.8 × 25
	断面係数	Z= 0.301 cm ³

2 設 計 条 件	荷重条件	T-20	支点間距離	L = 250
	後輪一輪荷重	P = 80000 N	衝撃係数	i = 0
	許容応力	$\sigma_b = 320$ N/mm ²	車両進行方向	主部材に対し、縦断
	主部材ピッチ	O = 12.5 mm		
	接地面積	a mm × b mm = 200 mm × 500 mm		

3 強 度 計 算	1. ベアリングバー1本当たりの単位荷重: ω (N/mm)を求める。 $\omega = \text{後輪1車荷重} \times (1 + \text{衝撃係数}) \times \text{ピッチ} / \text{接地面積} \quad \text{より}$ $\omega = 80000 \times (1 + 0) \times 12.5 / 100000$ $\omega = 10.00 \text{ (N/mm)}$
	2. ベアリングバーの最大曲げモーメント: M (N・mm)を求める。 $M = \omega \times L \times L / 8 \quad \text{より}$ $M = 78125$ $M = 78,125 \text{ (N・mm)}$
	3. 曲げ応力度: σ_b (N/mm ²) を求める。 $\sigma_b = M / Z \quad \text{より}$ $\sigma_b = 78,125.0 / 301.000$ $\sigma_b = 259.55 \text{ (N/mm}^2\text{)}$ <p>従って、許容応力 $\sigma_b = 320$ (N/mm²) に対し、</p> $\underline{259.55 \text{ (N/mm}^2\text{)} \leq 320 \text{ (N/mm}^2\text{)}}$

4 総 括	上記の計算式により、1項目の仕様で、 2項目の設計条件に対し十分な強度を保持致します。
-------------	--